

再入学

福井県立鯖江高等学校定時制

敦賀 ゆい

平成21年、「高校卒業」だけが目的で入った定時制高校。私は、中学生の頃から「勉強」とか「先生」というものが大嫌いだ。学校生活の中で、唯一好きなことと言えば、「体育」「体育祭」。それなのに、体育祭もない定時制高校に入学してしまった。

入学当初から、『友達と遊んでいたい』『彼氏と一緒にいたほうが楽しい』そんなことばかり言っては学校をズル休みし、たまに登校しても学校での態度は最悪だった。先生達に反抗したり、口答えしてばかり。結局、高校三年生の冬、中退。その理由も妊娠。相手は学校の先輩で今の旦那さん。周りの人には、「もったいない、何してるの!」と言われたけど、正直、私は、学校という縛りがなくなり嬉しかった。自由になれた。ラクになれた。でも、実際お腹の中の赤ちゃんが大きくなるにつれ、不安も大きくなり、恐くなってきた。籍を入れて、結婚することとは出来たけれど、本当にこれでよかったのか。今は幸せだけれど、後悔はしないのだろうか。学校からの縛りがなくなり、親元からも離れ、自由になったけれども、私は一生「高校中退」という肩書きを背負って生活していかなければならない。就職しようと思っても、限られた求人しかないかもしれない。この不景気の中、高校卒業という学歴は、強みがあると思う。だからこそ私は、「再入学」を決意し、主人と主人の母に協力してもらえようお願いをした。1歳半の息子を預け、定時制高校に通いたいという私に、家族みんなが協力するよと言ってくれた。感謝の気持ちでいっぱいだった。だけど、知っている先生も少なくなり、自分より年下の子ばかりの学校に馴染めるかも不安で、かなりの抵抗があった。でも、今まで迷惑ばかりかかってきた両親に、高校の卒業証書を見せたいという気持ちと、これから大きくなる息子にも恥ずかしくない母親になりたいという気持ちもあり一歩前に前進できた。中学校に向き、退学から再入学の経緯を説明し、願書を頂いた。知っている先生が、面接の練習までしてくださった。高校入試問題集というものを購入し、久しぶりに数学や英語に取り組んだ。家事や育児の合間の勉強は簡単ではなかったけれども、家族みんなが協力し応援してくれたので頑張れた。

「合格」うれしかった。5年前に合格した時の何倍も何十倍もうれしかった。晴れて再入学。昔の私に似てる子がたくさんいる。いじめられて中学校に行けなかった子や、家庭の事情で定時制に来た子。人付き合いが苦手であえて人が少ない定時制に入学した子とかいろんな理由があるかもしれない。私も、その一人だと思っし、今までいろんな事を経験したから言えるのかもしれないけれども、自分で選んだ学校をちゃんと卒業してほしい。どれだけ勉強が苦手でも、人間関係で悩んでも、アルバイトで疲れても、やめないで欲しい。人生の中で高校生活は大きいものだから。怒られたって、喧嘩したって、失恋したって前に進めれば何の問題もない。私

はそれを高校生活で学ぶことが出来た。嫌いだった「学校」というものが大好きになった。卒業出来ることをとても幸せだと感じている。先生方、今まで本当にありがとうございます。後輩のみんなもこんなでもならん私と仲良くしてくれてありがとうございます。家族のみんなもありがとうございます。ちよつと遠回りをしたけれど、私は無事「鯖江高校定時制」を卒業します。最高の高校生活をありがとうございます！